

群の要件の見直しについて（その２）

[対応案]

【実績要件３】の算出においては、現時点で最新の外保連試案（第 8.2 版）を活用することとしてはどうか。

平成 26 年度診療報酬改定における 群の実績要件は、「別紙」の通りとしてはどうか。

群の最低値（外れ値の取り扱い）については、改定全体の方針が決定した後、中医協総会で議論することとする。

（考え方）

【実績要件 1：診療密度】について、当該要件をクリアするため後発医薬品から先発医薬品に置き換えるインセンティブがあるのではないかという指摘があったが、機能評価係数 において後発医薬品の使用割合を評価する指数の導入することになれば後発医薬品を使用する一定のインセンティブが期待されることから、現行の評価方法を継続することとし、次回改定以降の後発医薬品の使用割合の動向を検証しつつ必要に応じて算出方法の見直し等の対応を検討することとしてはどうか。

【実績要件 3：高度な医療技術の実施】について、最新の医療技術評価を反映させる観点から、現時点で最新の外保連試案（第 8.2 版）を活用することとしてはどうか。

平成 26 年度診療報酬改定における 群の要件の考え方

下記の【実績要件 1】～【実績要件 4】のそれぞれについて、 群（大学病院本院）の最低値（但し、外れ値を除く）より高い医療機関を 群（大学病院本院に準じる病院）とする。

【実績要件 1】：診療密度

診療密度 = [1 日当たり包括範囲出来高平均点数（全病院患者構成で補正；外的要因補正）]

当該医療機関において症例数が一定以上の（1 症例/月；極端な個別事例を除外するため）診断群分類に該当する患者について、当該医療機関が全 DPC 対象病院の平均的な患者構成と同様な患者群に対して診療を行ったと仮定した場合の 1 日当たり包括範囲出来高実績点数を算出する。

【実績要件 2】：医師研修の実施

医師研修の実施 = [届出病床 1 床あたりの臨床研修医師数（基幹型臨床研修病院における免許取得後 2 年目まで）]

各医療機関が厚生労働省に報告している臨床研修医数と、地方厚生（支）局へ届け出ている病床数（様式 3 の「医療保険」総数（届出病床総数））により算出する。

特定機能病院は当該実績要件を満たしたものとして取り扱う。

【実績要件3】：高度な医療技術の実施

高度な医療技術の実施 = [次の3つ(3a~3c)がそれぞれ一定の基準を満たす]

(3a)：手術1件あたりの外保連手術指数(協力医師数及び手術時間補正後)

(3b)：DPC算定病床当たりの同指数(協力医師数及び手術時間補正後)

(3c)：手術実施件数

「(3a)：手術1件あたりの外保連手術指数(協力医師数及び手術時間補正後)」は、当該医療機関の全患者総計の外保連手術指数()を「(3c)：手術件数」で除して算出する。

「(3b)：DPC算定病床当たりの同指数(協力医師数及び手術時間補正後)」は、当該医療機関の全患者総計の外保連手術指数をDPC算定病床数で除して算出する。

「(3c)：手術件数」については、外保連試案(第8.2版)において技術難易度が設定されている手術を集計対象手術とする。ただし、点数設定から同等の技術と考えられるものも集計対象とする。

() 外保連手術指数の算出方法

- 外保連手術指数は、外保連試案(第8.2版)に記載されている、協力医師数を含めた時間あたりの人件費の相対値(下表参照。難易度B、協力医師数0人を1としてそれぞれ相対化)に手術時間を加味して各手術に重み付けし、集計対象手術それぞれについて合算し、算出する。

【例】難易度D、協力医師数2、手術時間数3の手術は $7.43 \times 3 = 22.29$

協力医師数	0	1	2	3	4	5	6
B	1.00	1.27	1.54	1.81			
C	2.36	3.36	3.63	3.90	4.17		
D	4.07	6.43	7.43	7.70	7.97	8.24	
E	6.11	10.18	12.54	13.54	13.81	14.08	14.35

難易度、協力医師数、手術時間数はいずれも外保連試案の規定を採用。

- 外保連試案と結びつけられなかったKコード(医科点数表の手術コード)の手術については、医科点数表の点数設定を参考に、類似する手術が存在する場合に同じ難易度を付与する。それ以外のものについては集計の対象外とする。
- 1つのKコードに複数の外保連試案コードが対応する場合は、協力医師数を最も重視する形で外保連手術指数を算出する。具体的には次の順で対応する手術を1つに絞り混んで対応関係を作成する(協力医師数を最優先)。
- 外保連手術指数の集計においては、様式1に記載された手術のうち、複数の記載がある場合には、最も外保連手術指数が高い手術の指数に基づき評価する。

【実績要件4】: 重症患者に対する診療の実施

重症患者に対する診療の実施 = [複雑性指数(重症 DPC 補正後)]

全 DPC 参加病院データの平均在院日数より長い平均在院日数を持つ DPC で、かつ、1 日当たり包括範囲出来高実績点数が平均値より高い DPC を抽出。これらの DPC について複雑性指数を算出する。

